

令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 友達への思いやり	3 道徳・心の教育の充実
学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。	学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)
【学校から】○一人一人を大切にされた指導の項目では、児童、教師は「4」「3」の評価が90%を超えているが、保護者は89%であった。教職員の更なる人権意識の向上に努め、人権教育計画に沿った指導を確実に進めていくと同時に、教職員の児童と接する時の態度、言葉遣い等も良き手本となるよう意識を高めた。○教師、保護者、子どもとも楽しい学校生活を送れていると考えているが、わずかだが「2」もある。楽しくない原因を探り、状況が改善するよう取り組んでいきたい。○心の教育の充実では、保護者の意識として「2」が昨年度に比べるとやや増加している。今年度は学校の実践が上手く伝わっていない面もあるかも知れないが、原因を分析し、改善していきたい。		

②確かな学力を育む教育の推進

4 意欲的な学習態度	5 授業力向上	6 ICT活用
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。	先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。
【学校から】○昨年度と同様、3つの項目全てで「4」または「3」が90%を超えており、特に教職員の「分かりやすい授業づくり」「ICT機器活用」においては100%である。タブレット導入に伴い、授業改革が進んでいると考えられる。その影響からか、意欲的な学習態度の項目で「1」をつける児童は0%であった。ただ、児童にとって教師の授業に対する評価はわずかではあるが「2」「1」と評価する子も存在する。「わからない」「楽しくない」という児童が存在するということを謙虚に受け止め、もう一度、一人一人の子どもたちを見つめ直し、更なる授業改善を図ってきたい。		

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり
子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。
【学校から】○昨年度同様、教職員のこの項目における「4」の評価は0%であった。校内研修でも「たくましい体の育成」を掲げており、子どもたちの様子を伝えながら、保護者との連携を密にしながら、引き続き指導をしていきたい。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実	②特別支援教育の推進	
8 児童生徒理解	9 いじめや問題への対応	10 学校の支援体制
先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。
【学校から】○児童理解の項目では、三者とも「3」「4」の評価が90%を超えた。授業参観や学校行事等が減少したものの、教師の地道な指導が概ね保護者の理解を得ているということであろう。今後も引き続き、一人ひとりに目を向けたよりよい児童理解に努めたい。○いじめ問題の対応に関しては、「3」「4」の割合が保護者は86%、児童は96%と若干であるが差がある。どのような部分で差が生じているのか、詳しく分析し、改善を図りたい。そして、早期発見、早期解決のための学校と家庭の連携強化に努めたい。		

①子どもたちの身近な安全対策の充実	②最適な学習環境の整備
11 安全と事故防止	12 施設・設備の安全管理
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。
【学校から】○日頃の郊外、校内の事故防止に関しては機会を見つけて、繰り返し指導を続けている。その結果、児童は「3」「4」の評価が96%と高い。保護者にもそれらの指導・実践が伝わるよう、学校と家庭の連携強化を図り、更なる安全指導を進めていく必要がある。	【学校から】○この項目に関しては「3」「4」を合わせると80%を超えるが、「4」の評価は少ない。児童の動線を考え、けが等をするような障害物の撤去や整理を徹底しなければならない。特に非常階段等の避難経路の再点検を始め、日常の安全点検を入念に行っていく。

③家庭・地域社会との連携強化

<h4>13 教育方針・目標の理解</h4>	<h4>14 家庭や地域との連携協力</h4>
<p>学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。</p>	<p>学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○今年はコロナ禍の影響もあり、「4」だけに限ってみると保護者で40%を下回っている。ただ学校から直接保護者へ教育方針・目標を伝える機会はなかったが、学校便りや学校HP等で伝えてきた。今後はICT機器を活用するなどして、新しい方法での伝え方を探していきたい。○「連携・協力」についても、保護者、職員共に「3」「4」の評価が昨年度と比較すると低い評価(80%前後)となった。どのような状況下でも「連携・協力」が確実に図れるよう方策を練り、実行していきたい。</p>	

④本校の教育

<h4>15 1</h4>	<h4>16 2</h4>	<h4>17 3</h4>
<p>子どもは、自分から進んであいさつをしていますか。</p>	<p>子どもは、家庭学習の習慣を身に付けていると思いますか。</p>	<p>子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」ができていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○本校の「こんな子供に」の中に「気持ちのよい挨拶ができる子供」があるが、「3」「4」の割合が、児童と保護者は80%前後であるのに対して、教職員は67%となっている。また、「2」の割合も児童、保護者に比べて高い。認識のズレがどこから来ているのか詳しく分析し、三者ともに同じような評価ができるよう改善を図っていく必要がある。○学校の実態として、学力の格差(高い子と低い子の差)がやや見られるが、保護者の認識として「4」「3」の割合が79%である。「2」「1」を合わせると割合が20%を超えるので、その部分を何とか保護者と連携を取りながら、改善していく必要がある。タブレット等を利用しながら、意欲を高めたい。○「早寝・早起き・朝ごはん」は昨年度と同じような結果になった。学校だけでは難しい部分もあるので、家庭と連携、協力しながら基本的な生活習慣の定着を図りたい。</p>		

来年度の具体的な取り組みについて

○教育目標方針については、さらに分かりやすく、学級・学校便り、PTA新聞、諸団体会合などあらゆる機会を通して、また児童に一人一台配布しているタブレット等を使いながら新しい発信の仕方も取り入れながら、情報発信を行う。

○毎時間の授業の充実のための教材開発を続けていくとともに、ICT機器の効果的活用を図りながら授業改革・改善に努める。そして、子どもたちの学びがこれからの生きていく上での必要な力として、確実に身に付けられるよう更なる指導の充実を図る。

○昨年度より健康教育に取り組み、子どもたちの豊かな心とたくましい体の育成を目指してきた。今年は休校等があり、十分な運動や体力向上の取り組みができたとは言えないが、教職員の体育を中心とした授業力向上が図られ、指導の質が上がり、子供たちも運動に対する意識が向上している。これからは体育以外の学校行事や児童会活動ともタイアップしながら、楽しみながら体力の向上や心身を鍛える活動(場面)を増やしていきたい。

○支援の必要な児童が増えつつあるが、今年度新設された学習指導員の活用等により、従来に比べると細かいところまで行き届いた支援が可能になった。これからは教職員の支援体制を整えるとともに、学校外の機関とも連携を密に図りながら、その子にとってよりよい支援を探り、実行していきたい。

○今年度は特別な状況下になり、保護者(家庭)との連携が従来のように取れなかった。しかしながら、どのような状況でも学校と家庭が連携していくにはどうしたらいいか、それを皆が考えるいい機会となった。完全ではなくても、現在の状況下でできることを進めていけるよう、皆でアイデアを出し合いながら、更なる創意工夫をしながらやっていきたい。

学校関係者評価

○いろいろな学習内容や学習方法があつて、子どもたちは興味や関心を持ち、意欲的に学習できていた。タブレットを一人1台使えることで、さらに効果的な学習が進むと思われる。教師の準備や研修は大変だと思うが、素晴らしい取り組みだと思う。ただ、視力の低下など健康面が心配であり、何でもタブレットに頼りすぎて自分で字を書かなくなるのではないかと懸念がある。字を書く学習にもしっかり取り組んでほしい。

○学校HPが充実している。コロナ禍の良い影響と思われるが、学校やPTAの取り組みがよくわかる。

○これまでになかった学習指導員やスクールサポートスタッフなど新しいスタッフがいて、子どもたちの学習面や衛生面の環境が充実していると感じた。これからこの活動を存続するために人材が必要なら、PTAの活用を考えていくといいのではないかと。

○休校中、オンライン授業などでも学習を進めることはできたが、人との触れ合いによる学習はとても大事である。学習や運動に限らず人間関係などいろいろな体験をする場として、学校の存在はとても大きいと感じている。

○最近地域で出会う子どもたちの挨拶がよくなったと感じていた。これまでこちらから挨拶していたが、子どもたちから挨拶をしてくれてとてもうれしい気分になる。「挨拶、返事、履物をそろえる」の3点に学校が力を入れているという説明を聞いて、効果が出ていることが分かった。

○朝ごはんを食べていない、親の仕事がないなど、コロナ禍で子どもたちの生活に影響が出ていないか心配している。地域でも把握に努めていきたい。